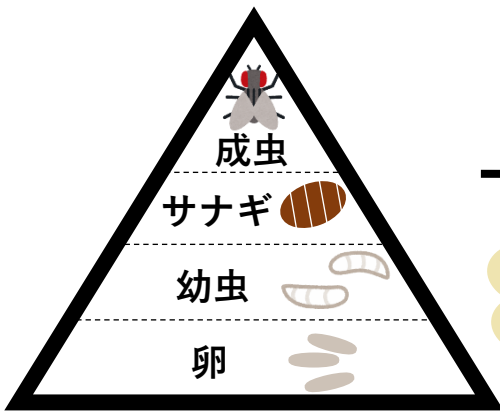
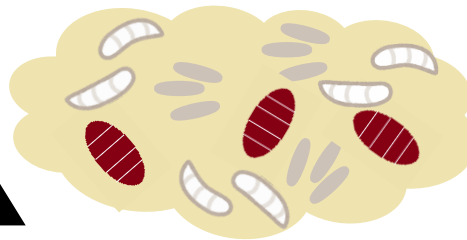


## ハエ防除対策は冬季から始めましょう！

冬のサシバエの成虫を1匹放置すると、春には1万匹になって返ってくるといわれています。  
サシバエ対策は寒さが続く今から始めましょう。



私たちの目に見える「成虫」はサシバエ全体の20%（氷山の一角）です。



残り80%の「卵」、「幼虫」、「サナギ」は堆肥の中等、私たちの目に見えないところに潜んでいます。サシバエ防除においては特にこの部分の対策が重要となります。

できていますか？チェックしてみましょう

：こまめな清掃を行っていますか？

汚れた敷料や残餌を片付け、ハエの産卵場所を減らしましょう。

：堆肥の切り返しを充分に行い、IGR剤（幼虫の発育阻害剤）を散布していますか？

堆肥の発酵温度を65℃位まで上げましょう。バーンクリーナー、糞の取り残しがある場所、牛が踏まない所のような、ハエの発生しやすい所を中心にIGR剤を散布しましょう。

：ハエ取り用粘着シートや成虫用殺虫剤を使用していますか？

殺虫剤は系統が異なる薬剤をローテーションで使いましょう。畜舎に防虫ネットを設置しましょう。

：畜舎周りはきれいに管理されていますか？

畜舎周辺の雑草を刈り取ったり、防草シートを設置しましょう。  
（サシバエは日中茂みに潜んでいるので、休み場所をなくしましょう。）

サシバエは牛伝染性リンパ腫（牛白血病）やランピースキン病の原因となるウイルスを媒介すると考えられています。

ひとりひとりが徹底した対策を行い、地域ぐるみで防疫体制の強化につなげましょう！

## 吸血昆虫（アブ、サシバエ）について動画でもっと知りたい方へ

「畜産分野における害虫の生態と防除法（ダイジェスト版）」  
住化エンバイロメントサイエンス（株）八木 智彦 様

下記URLまたは、右QRコードより視聴できます。  
（※youtube動画サイトに移動します）

（URL） <https://youtu.be/cXCu5baM5Po>



東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内線395) FAX:0573-25-7669

時間外連絡の場合は、警備室 0573-26-1114 にご連絡ください。